

健康と光線

リウマチの特徴

長期にわたり増悪と緩解を繰り返す多周期型の慢性関節リウマチ(リウマチ)は、主として手指、手首、足指、足首、膝、肘、肩、顎、股のような関節を移動する関節炎を起こす難治な炎症疾患です。この病気は、全国に30万人を超す患者がいると見なされていますが、女性の罹病率は男性の3-4倍以上で、困ったことには働き盛りの中年層で多発します。現在のところ確かな原因は不明ですが、自己抗体のリウマチ因子が検出されることから、免疫異常が発病に大きな役割を果たしている自己免疫疾患と考える説が重視されています。

問題の関節機能については、大体80%の患者は良くなったり悪くなったりしながらも何とか日常生活を営めますが、10-20%の患者は関節の動きが悪くなったり日常生活が困難になり、車椅子や寝たきりの身障者になる恐れがあります。

このようなリウマチに起因する障害者を防ぐためには、積極的に関節を動かして関節機能を保つように努めなければなりません。

治療の基本は関節を温めて動かす

一般的に病気の治療では安静が重んじられますが、リウマチの場合は関節を動かさないようにする安静は禁物で出来るだけ動かさなければなりません。しかしリウマチ患者は関節や筋肉が痛みますので動かすのをとくか嫌がります。それを何とかして患者側の協力を得て動かさ

せるには、動かすこと(運動療法あるいはリハビリテーション)とい換えてもよい)の意義を理解し納得して貰う必要があります。以下、その目的と実際の効能効果を要約します。

- (1) 筋力の保持および増大を助け、筋萎縮を防止する。
- (2) 関節可動域の保持に役立つ。
- (3) 関節の変形を防止する。
- (4) 関節の血行を改善し、関節腫脹を減少させる。
- (5) 疼痛を軽減する。

リウマチと光線療法

— 身障者を作らないために —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士

宇都宮 光明

などですが、身障者を防ぐ上で欠くべからざる効果があるので。ところでリウマチのような関節の炎症疾患では、温めることで血液の循環を良くしますと痛みが軽減し、筋肉の緊張がほぐれますので、関節を動かし易くなり、関節の機能の保持、回復に役立ちます。反面、夏の冷房がリウマチ症状を増悪させるように、冷えはリウマチを悪化させます。

リウマチのよく知られた治療法に温泉療法があります。温泉は見方によれば全身を温める温熱療法ですが、温泉に入ると、温めると、血液の循環が良くなるので痛みが和らぎ、筋肉の強ばりも軽くなりますので、関節機能を保つのに役立つ効果的な運動療法を行うことが出来ます。このようにリウマチは温めて動かすことが大事なのです。

効果を倍増する光線療法

リウマチによる身障者を少なくするには、前述したようにきちんとした運動療法をしなければなりません。それには患者側の協力が大きな要素を占めています。何よりも患者が喜んで協力してくれるようにしなければなりません。そのひとつの手段として、関節を温める温熱療法を積極的に治療に取り入れることは大きな意味があります。

中でも光線療法を利用した温熱療法は、光線の優れた透過性に基づく深部温熱効果によって、関節を芯から温めて局所の血流を著明に改善しますので、関節の痛みを軽減し、筋肉の強ばりを和らげ、運動療法の効果を倍増することが出来ます。その結果、関節の機能が保たれますので身障者を防ぐことが可能なのです。これ以外に保存的な治療で身障者を防ぐよい方策はありません。

なお光線療法には骨を丈夫にする作用や免疫応答を調整する作用があり、単に運動療法の効果を助けるだけでなく、病因面からの効果も併せて期待できますが、この点については改めて述べることにします。

発行所

〒153 東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

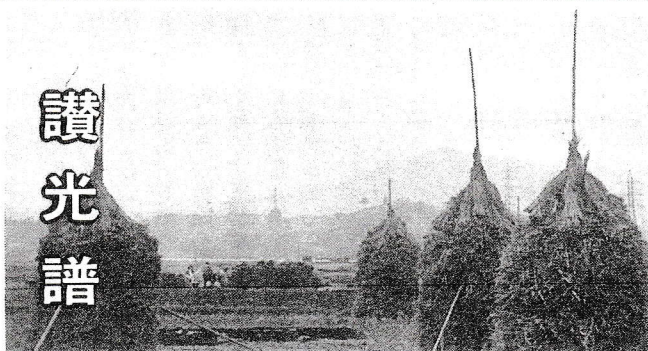
年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322



秋の田

宇都宮義真撮影

讃光譜



医者も薬も要らないか

太陽光線の作用を応用したサナモアで病気が治った話をする、そんな効果があるのなら、医者も薬も要らぬではないか、と言う人がいる。しかしそれは極端に過ぎるし、非常識である。そう言う人は、そんなに効くはずがない、と頭から疑っている。医者には医者にししか出来ない独特の任務のあることぐらい赤子でも知っている。薬の使用ひとつをとっても、医者にのみ許された職務である。我々が言いたいのは、サナモアにはサナモアに特有の効能、換言すれば生物が生きて行く上で重要な手助けをする作用のあることである。

光線と生物

光線なくして生物もあり得ないことは明白だが、近世科学もこの問題を取り上げ数限りない研究報告がなされている。

人に対する生理作用について言えば、光線に照らされると血液の全量が増し、その単位血液あたりの赤血球が増し、それぞれの赤血球に含まれる色素(ヘモグロビン)が増すので顔色が良くなるとか、呼吸中枢が刺激されて呼吸量が増し、而も酸素を運搬する色素が増して

いるから空中から体内に取り入れる酸素量が増し、身体全体の機能が盛んになって新陳代謝が盛んになるとか、消化吸収が完全に行われ、且つ有害な物質を解毒する作用が強くなるから栄養状態が良好になるとか、報告を読めば読むほど光線の人に与える影響がどんなに偉大であるかを痛烈に感じるのである。光線の果物に及ぼす影響について京大で試験した結果でも、蜜柑や柿や梨のビタミンC含有量は、光線を多く受けたものほど多く日陰のものほど少ない、と報告されている。このように食物の質を介して間接的にも影響を受けているのである。

人工光線の目標

さて光線療法で太陽光線の代わりをする人工光線について、医学博士正木俊二氏は「人工光線が日光の代用装置であると言う根本理由から人工光線の現状を批判するならば、要するにその装置から射出する光線が日光そのものに類似していることが重大な目標となるべきである。日光中の熱線(赤外線)も可視光線も又紫外線も含まれていて、且つ又日光中がない短波長の光線を発生しない光線、それが即ち人工光線として最も理想的な

ものである」と述べているが、サナモアが射出する光線こそ正にこの目標に合致する。それに取り扱いが簡単であるから家庭用としても便利である。

癒しの根本は自然良能

病気で具合が悪くなれば医者

病気は 何で治るのか

宇都宮 義真

にかかる。医者は病気の相談に応じ見通しを立て薬をくれる。しかし、もしも病気が医者の見立てと薬の力を借りなければ治らないとしたら、金持ちの病気がほど早く治り、貧乏人の病気は何時まで治らないことになる。しかし事実は決してそうではな

い。神仏の力にすがる人もいる。病気が神仏の力で治るものだとしたら、神や仏に奉仕する者に若死などはないわけである。また信心せぬ者、或は子供や犬猫など神仏に頼る力のない者は到底治る道理はないわけだが、世間を見ればそんなこともない。病は気から、と精神の力を強調する人もある。無論、闘病心まで否定することは出来ないが、精神力で治るとしたら、植木や虫類の傷の治ることの説明はつかない。

然らば病気は何で治るのか。それは病を癒す自然良能である。あらゆる生物に病と闘い癒す力が賦与されており、医学はこれを自然良能と名付けている。実際に医療に関係するあらゆる職種は自然良能の恩恵で成り立っている、と言っても過言でない。

サナモアは、優れた光線の作用を応用して自然良能を真に高めるので、万病に効果を認めるのである。

「光と熱」

昭和11年4月1日発行

―病気は何で治るのか―

昭和13年7月1日発行

―医者も薬も要らぬか―を要約した。

食物連鎖(食物網)

私たち人間は生きるために必要な栄養素(蛋白質、脂肪、炭水化物、無機塩類、水、ビタミンD以外のビタミン)を食物で補っています。生態系はこのよう

自然界の物質循環

— おおもとは太陽光線 —

医学博士 宇都宮 光明

な生物間の物質循環で成り立っています。

この生物間の物質循環の根源をなすのは、

緑色植物が太陽光線の光エネルギーを吸収して無機物から有機物を合成する光合成で、全ての動物の食料源になります。そ

れ故、緑色植物を生産者、動物群集を消費者と呼び、生産者と消費者、あるいは消費者間の関係を表す言葉が食物連鎖ですが、相互関係は複雑に絡み合っている。食物網ともいいます。なおカビのような微生物は、動植

物の死体や排泄物のような有機物を無機物に分解して、再び植物が利用できるようにする役割を担っていますので分解者とい

います。ところで中生代の地球を支配した巨大恐竜が滅亡したのは、地球に巨大な隕石がぶつかって大噴火を起こし太陽光線を遮ったために環境が激変し、食べ

るものも無くなった、と言う説があります。太陽光線が遮られれば、生産者としての植物の光合成量も減りますから、恐竜の食料難もうなずけます。

消費者間(動物界)の食物連鎖は、食うか、食われるかの関係です。もともとは食う食われる、と言っても、限られた食物、例えば植物しか食べない動物もあれば、人間のように何でも食べる動物もあります。それで植物しか食べない草食動物は一次消費者、肉食動物は専ら食われる立場か食う立場かで順に二次、三次、四次消費者と分けていま

す。因に食物連鎖で最も高次な位置にいる私たち人間が18歳まで育つのどの位の食物を食べると思いますか。答えは約7トンだそうです。

食物源は光エネルギーの0.25%

食物連鎖の出発点は、緑色植物が太陽の光エネルギーを吸収して無機物から有機物を合成し、動物が利用できる化学エネルギーに転換する光合成であり、エネルギーの流れは、太陽光線↓緑色植物↓草食動物↓肉食動物と移ることが分かりました。このようなエネルギーの流れに関して、ある段階のエネルギーが次の段階に移る時に利用される割合を示すのがエネルギー効率です。

それでは太陽光線と緑色植物との間のエネルギー効率は何の位になるのでしょうか。その平均は僅かに0.25%、つまり地球上に到達する光エネルギーの40分の1でしかありませんが、これで地球上の全生物の食料をまかなっているのです。

生物個体の物質循環

自然界の物質(元素)は、いろいろと形を変えながら、地球環境、生産者、消費者、分解者の間を循環しますが、総量は一定で増えも減りもしません。その中に生物個体内の物質循環があります。基本になるのは同化作用とか異化作用のような物質交代(代謝)です。ここでは

生物に多量に存在する炭素と窒素の循環について記述します。

炭素は、蛋白質、脂質、炭水化物の中心元素で、生体の乾燥重量の40-50%を占めています。この炭素は、緑色植物が大気中に含まれる二酸化炭素(炭酸ガス)と水を原料に光合成によって生産した炭水化物が、食物連鎖による移動で体内に取り込まれてから、いろいろに変化したものです。なお大気中の二酸化炭素濃度はたったの0.03%しかありませんが、海洋中にはより高濃度に含まれていて、大気中の濃度を調節する働きをしていますので、普通は余り変動することなく安定した平衡状態を保っています。

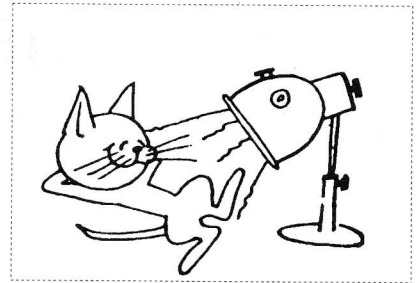
窒素は、蛋白質や核酸の主要な構成元素です。植物は窒素の塩類(無機窒素化合物)を取り込み、これに活動エネルギーを得る酸素呼吸の経路で炭水化物から生じる各種の有機酸を結合させてアミノ酸を作り、蛋白質や核酸のような有機窒素化合物を合成します。しかし動物には無機窒素化合物を同化する能力がありませんので、植物が同化した有機窒素化合物を食物連鎖で取り入れ、それぞれ個体に適するように窒素同化をしています。

自然界の平衡

生物にとっても大切な物質循環に、大気中の容積の約20%を占める酸素の循環があります。酸素は、これまでは植物が光合成で生産する量と動植物が呼吸で消費する量とがほぼ平衡している、と考えられていました。しかし近年になって人類は燃料を大量に消費する一方で森林を破壊していますので、その影響が危惧されています。

酸素は外に水として循環しています。水の循環には、光合成や食物連鎖のような動植物での循環もありますが、太陽の放射熱によって地上の水が蒸発し、大気中の水蒸気が雨や雪となつて降る、いわゆる非生物的な循環もあります。水で特に記憶に新しいのが今年の深刻な水不足ですが、自然界の平衡をないがしろにして、雨が降らなくても大量の水を消費せざるを得ない文明社会の泣き所がはしくも露呈した、そんな気がします。もともと惑星地球号の自然界は平衡を保っているのです。そこに人間が出現してから、どうも碌なことがない、と大恩ある太陽に叱られないようにしたいものです。

☆難聴



— 治 験 例 報 告 —

はつきりと聞こえたし、学校の運動部の都合もあるので明日から来れない、と言う。このように自覚的には明らかに改善していたが、なお後二、三回は治療をしたほうが良いと思っていた。しかし本人の意志では仕方がないので、もしも再び聞こえにくくなるようなら直ぐに來所することを約束して治療を中断した。

春日市 育美健康光線療研
前田 ミサ氏報告

TEL092-581-2039

☆更年期障害

症例 56歳 女性 主婦

症状 病院で更年期障害の診断を受けていた症例である。

來所時、顔がほてる、後ろ首が凝って痛む、物忘れする、手足に力がいらない、時に耳の奥に痛みを感じる、など様々な不定愁訴があり、自分の健康面も含めて自信が持てず、心配ばかりが先立ち、毎日が不安な状態が続いていた。こんなことを友達に愚痴ったら、その友達が更年期

☆うつ状態

症例 45歳 女性

症状 祖母を亡くした悲しみの癒えないうちに母親を亡くし、そのショックでうつ状態になった。気分は沈み、全てにおっくうで、頭痛、食欲不振、易疲労感、不眠などの身体の不調に加え自殺願望があり、死にたいと雨の中陸橋に立っていた時に娘と同じ年の女高生に助けられ

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセッとしたり、サナモアA、B、C、Dと効果が同じという根拠も無いという文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので異々もご注意ください。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B-1」のマークが必ずついています。)

東京光線療法研究所

家まで送ってもらったこともあった。こんな心理状態を心配さ

れたご主人が連れ添って來所した。

訴える症状(不定愁訴)は明らかに軽くなったが、時々振り返りため治療は継続した。その結果、一年三カ月して患者を苦しめた全ての症状がなくなり完治した。今では自信を取り戻せた大変に喜び、サナモアの良き愛用者である。なおこのよう

療法経過 ABで顔、腰、腹、背、膝に各10分、足裏に30分、一号集光器を使い後頭部、左右側頭部に各10分照射した。

治療を始めてから、食欲が出て眠れるようになり、気分的にも大分楽になったようだった。五日目には傍から見てもうつ状態は改善し、それまで苦しんだ症状も殆ど訴えなくなつた。その後も週に一回の治療を続け、完全に以前の元気を取り戻された。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL044-721-5067

松元光線治療院

松元 浩士氏報告

TEL078-4143-1093

症例 14歳 男児
症状 最近、電話の音が聞き取りにくくなった、とのことである。なお既往歴に蓄膿症がある。

療法経過 当初の四日間、A Bで足裏、後頭部、背部、腰部、膝部、腹部(臍中心)に各5-10分(熱くなるまで)、BCで集光器を使い喉頭部、鼻部、耳部(患部)に各20-40分(熱くなるまで)、五日目から八日目までは全てA Bで前述の照射部に同様に照射した。

治療を始めてから八日目に來所した際に、昨晩は電話の音が

私の治療例から

神戸市

松元光線治療院

松元 浩士

全身の打撲症

68歳 男性

サナモアの効能を改めて再確認した私自身の治療体験から述べたい。

平成3年8月16日、二階の最上段から逆様に転落した。頭から先に落ちたため、

額と頭頂部の間が腫れて血がにじみ、首を強く突いてムチ打ちのようになった。

同時に腰から尾骨にかけて強く打し、痛みと腫れで動くこともできず、足の小指を切り出血していた。顔面蒼白、立つことももとより、動くことも出来なかった。

家人に助けられ、直ぐさまB

Bで全身照射をした。一日に三回は照射し、三日目になって腰はほんの少し動かせるようになった。熱も少し出たが何時の間にか平熱になった。しかし頭のみならず、中々良くならないので病院で精密検査を受けることにした。

検査の結果、骨に異常なく、四十代の人と同じがっしりした骨だとはめられたが、頭のふらつきは左側の頭頂部にうっ血を起こしているためで、自然に散らすには時間がかかるし、腰の神経にも圧迫があるので、兵庫医大で頭と腰と一緒に手術をすれば頭も足も良くなる、と言われたが、手術は断って光線治療を続けた。

治療はBで腰一時間、尾骨（一号集光器）30分照射後、Bで腰30分、尾骨（一号集光器）30分照射し、B又はBで頸部を前後左右から、左右の側頭部、額と頭頂部の腫れた患部、後頭部（一号集光器）に各20分照射した。なお小指の傷はAで照射した。

この治療を一日三回続けたが、頭のふらつきや腰痛は日増しに改善し、十日目頃には車の運転が出来るようになった。無論、

その後は順調に経過して完治したことは言うまでもない。

「後記」私は健康増進のため日頃から週二回は全身照射をしています。そのため骨が丈夫で骨折せずに済みました。患者さんや周辺の知人も、最近はお骨の脆い人が多く階段の二段も踏み外せば骨折する人も多いのに、階段の最上段から落ちたのに骨折せず、それに回復の余りの早さに光線の素晴らしさを見直された様です。

光線は我家の宝医者いらす

松元 浩士

脳梗塞

77歳 男性

平成4年1月29日の朝、兄が突然言語障害を起こし、寝たまま起きられなくなった。その様子を見て驚いた姪から、病院は休みだしどうしよう、と電話があり、あわてて見に行ったら、

着いて直ぐにAで足裏に一時間半照射しながら暫く様子を見て、三時間後に足裏一時間、一号集光器を使って左右の側頭部、額、後頭部に各20分、首筋と顔は開放にして各10分照射し

たが、言葉や意識が少しずつはっきりしてきたので、寝る前にも一度足裏に一時間照射するように話してその日は帰宅した。

翌日、病院に連れて行き精密検査を受けたが、脳梗塞を起こし左右の側頭部の血管が詰まっているのでこのままだとボケると医者に言われたと姪は大変なショックを受けていた。それから光線療法に頼るしかない、と決意した。

Aで一日三回、足裏に一時間、A又はBで一号集光器を使って左右側頭部、額、後頭部、首に各20分、開放で腹、腰に各20分、顔、首筋に各10分の照射を続けた結果、病状は日に日に快方に向かった。病院には初診の三日後に血液検査に行き、六日後に再度精密検査を受けに行ったが、自覚症状だけでなく検査所見にも著しい改善を認めたため、医者は不思議そうにしていたと言う。

まさか六日でここまで回復するとは、と夢にも思っていなかった兄と姪の喜びは口では言い表せないほどであった。それから自宅でも日に一回は照射しながら、車で週に一回全身治療のために来ているが、今では以前に

増して健康である。

父と娘に笑顔の戻り福寿草

松元寿美枝

十二指腸潰瘍

60歳 男性

十二指腸潰瘍で二年前からコルタール様の血便が出るようになり、服薬しながら仕事をしていた。しかし再発を繰り返して日増しに悪化するため、医師から手術を勧められたが嫌だと断っていた。そんな矢先に友人から光線療法の話を聞き、手術せずに治るならと来所された症例である。

治療はAで基本照射部位に各10分照射してから、Bで肝門、腰、背中、下腹、腹に各20分、十二指腸の部位は一号集光器を使って前から30分、後ろから20分、膝、足首に各10分、足裏に30分照射した。その結果、五日目には肉眼的に見てコルタール様の血便がなくなり、正常な便が出るようになった。二年間苦しんだのがこんなに早く楽になったと喜び、早速治療器を購入してそれから毎日照射し

(六ページへつづく)

(五ページからつづく)

ているが、今では見違えるほど元氣になった。

ウイルス性肝炎

45歳 男性

体調の変化、特に異常に疲れ易くなったことに気付き病院を受診したところ、ウイルス性肝炎と診断され入院した。熱はなかったが、黄疸、全身倦怠感、食欲不振、吐き気があり、一合位ずつ二回吐血した。黄疸は入院二カ月ほどで漸次消失し食欲も出てきたが、肝機能の検査値が改善しないため友人から光線療法を併用したらと勧められ、病院の外出許可を貰って来所した。

本例は入院中のため三日に一回治療したが、A Bで基本照射を各10分して、B Dで膝、ふくらはぎ、右上腹部前後ならびに側方(肝臓部)、腹、腰、左上腹部前後(脾臓部)、背、左右腎臓に各10分、足裏に30分照射した。その結果、肝機能の検査値は速やかにほぼ正常域になり、入院四カ月で退院した。退院後

も週に一回治療に来ているが、腹の出っ張りも治り体重も元に戻った。現在、酒も煙草も止めて職務に励んでいる。

腱、靱帯の損傷

52歳 女性

テニスをして右足のアキレス腱と膝の靱帯を切り、二回に分けて手術を受けたが、術後に夜も眠れぬほどの痛みがあり歩行も思うに任せず来所した。

A Bで基本照射を各10分してから、B Bで一号集光器を使い膝に四方から、同様に足首に四方から各20分、腰、腹、背に各10分、臀部、鼠径部に20分、足裏に30分照射した。この治療で三日目には痛みが殆どなくなり治療は六回で打ち切ったが、足が軽くなったと喜ばれた。

椎間板ヘルニア

48歳 男性

高校の体育の先生であるが、椎間板ヘルニアで整形外科に五十日間入院加療したと思わしく

なく、同僚の紹介で来所した。来所時、鎮痛剤を服用しても痛みのため腰を真っ直ぐにすることが出来ず、下肢にしびれと痛みがあり、治療室の階段を登るのがやっとの状態だった。

腰にはB B全開で30分照射してから、圧痛のあるところに一号集光器を使って痛みが取れるまで照射したが、同時に臀部、鼠径部、左右腎臓(一号集光器)に各20分、膝裏、ふくらはぎ、膝、足首、腹、背後頭部、首に各10分、A Aで足裏に30分照射し、その後に再度B Dで腰に20分照射した。治療始めて三日目までは日増しに良くなり始ど痛みがなくなったが、四日目に再び痛みが増したので痛みが取れるまで照射したところ、嘘のように楽になり、五日目から学校に行けるようになった。それから午前中授業をしてから九日間連続で午後に治療し完治した。

(神戸市東灘区湊江北町2-1
7-31-TEL078-114
三二〇九三三)



サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に感じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三三九三-五二八二
三三二一-五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)